

# 景気景況調査報告

(第31回)

令和5年	7～9月期	実績
令和5年	10～12月期	見通し

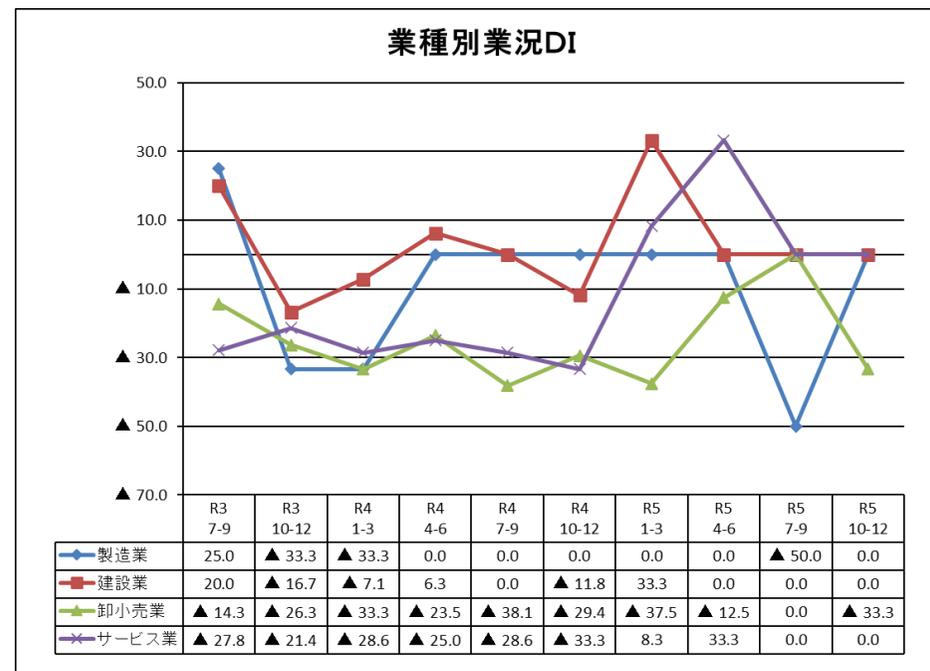
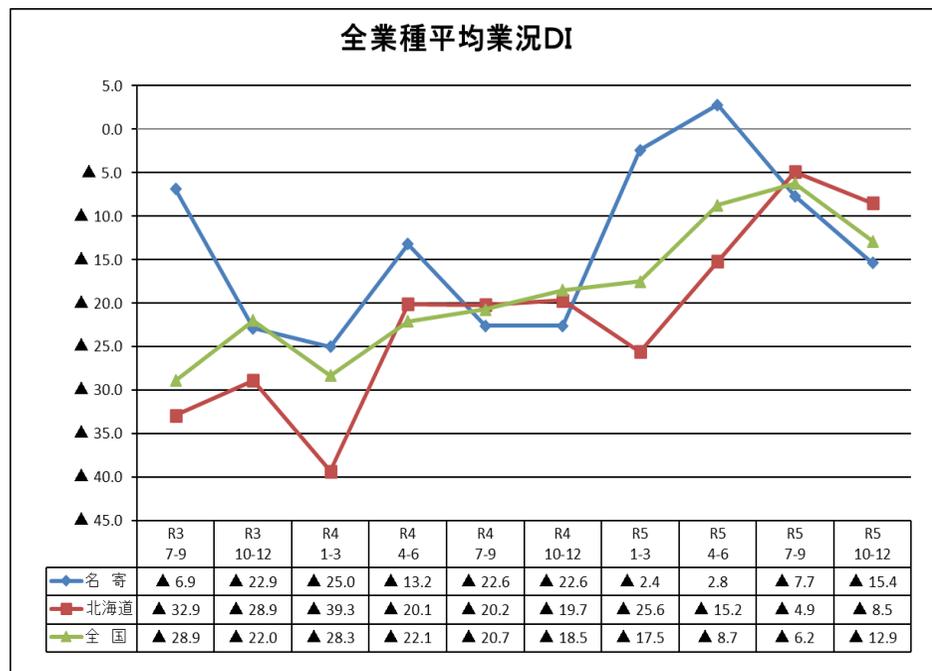
令和5年12月

名寄商工会議所

## I 調査要領

- ①調査対象期間 令和5年7～9月期の実績及び令和5年10～12月期の見通し
- ②調査内容 製造業、建設業、卸小売業、サービス業の4業種に分類し、売上高、採算、仕入、販売、従業員、業況、資金繰りの7項目について調査を実施。
- ③調査対象 当所会員企業（メール・FAX・Google Formで協力願い） 120社

## II 調査結果

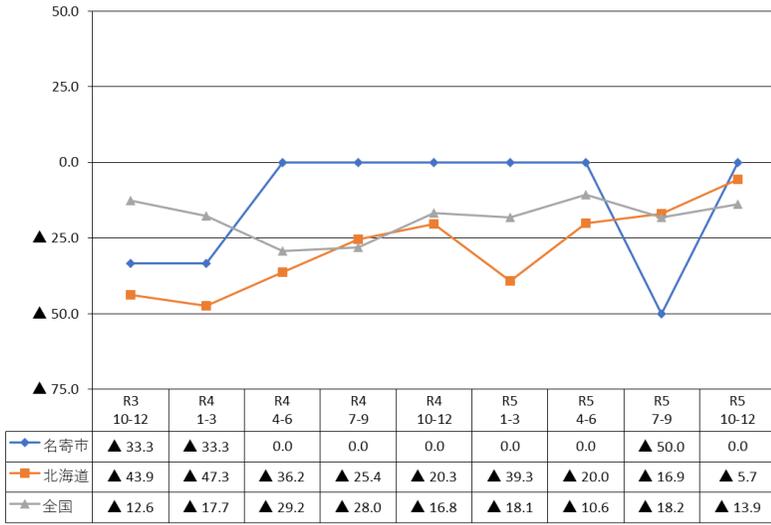


※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

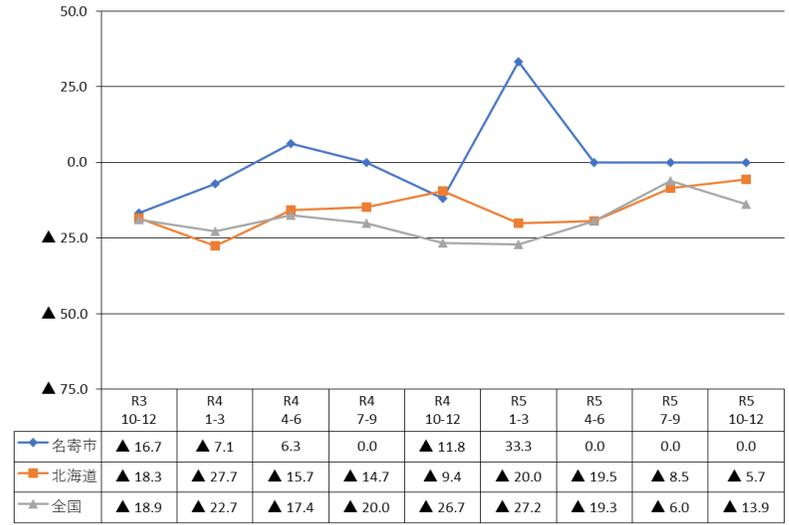
- ・今期、全業種平均で-7.7ポイントと前回調査と比べて10.5ポイント減少となっている。
- ・見通しでは今期と比べ7.7ポイント悪化となり-15.4ポイントとなっている。
- ・北海道（道商連調査）の景気を比較すると、今期2.8ポイント悪化となり、見通しではマイナス幅が拡大する見込みとなっている。
- ・全国（日商調査）の景気を比較すると、今期-1.5ポイント悪化となり、見通しでのマイナス幅が拡大する見込みである。
- ・物価高騰や原油価格高騰等により、今後さらなる業況悪化が見込まれる。

# 業種別業況DI

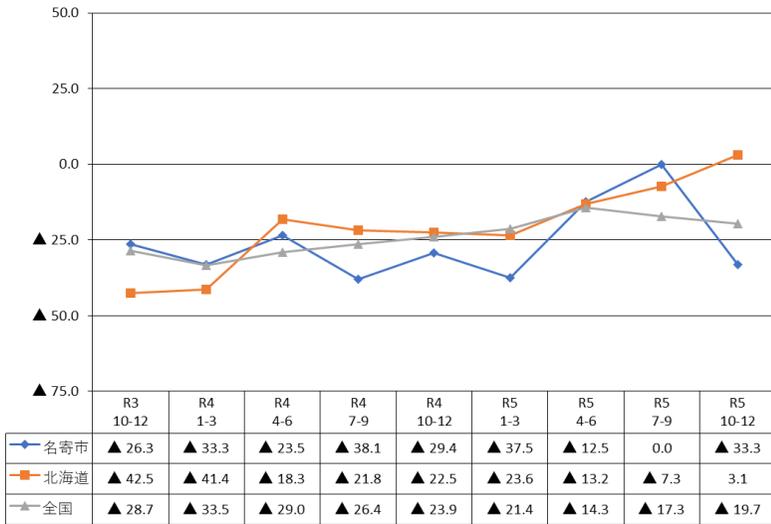
## 製造業 業況DI



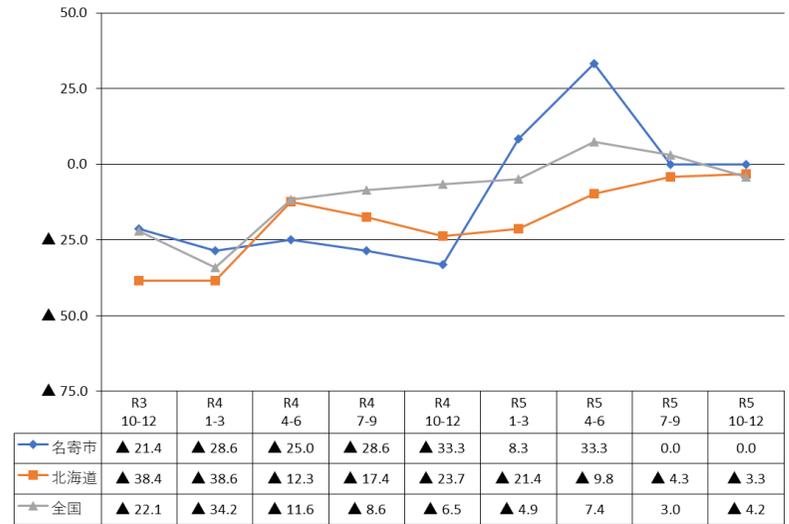
## 建設業 業況DI



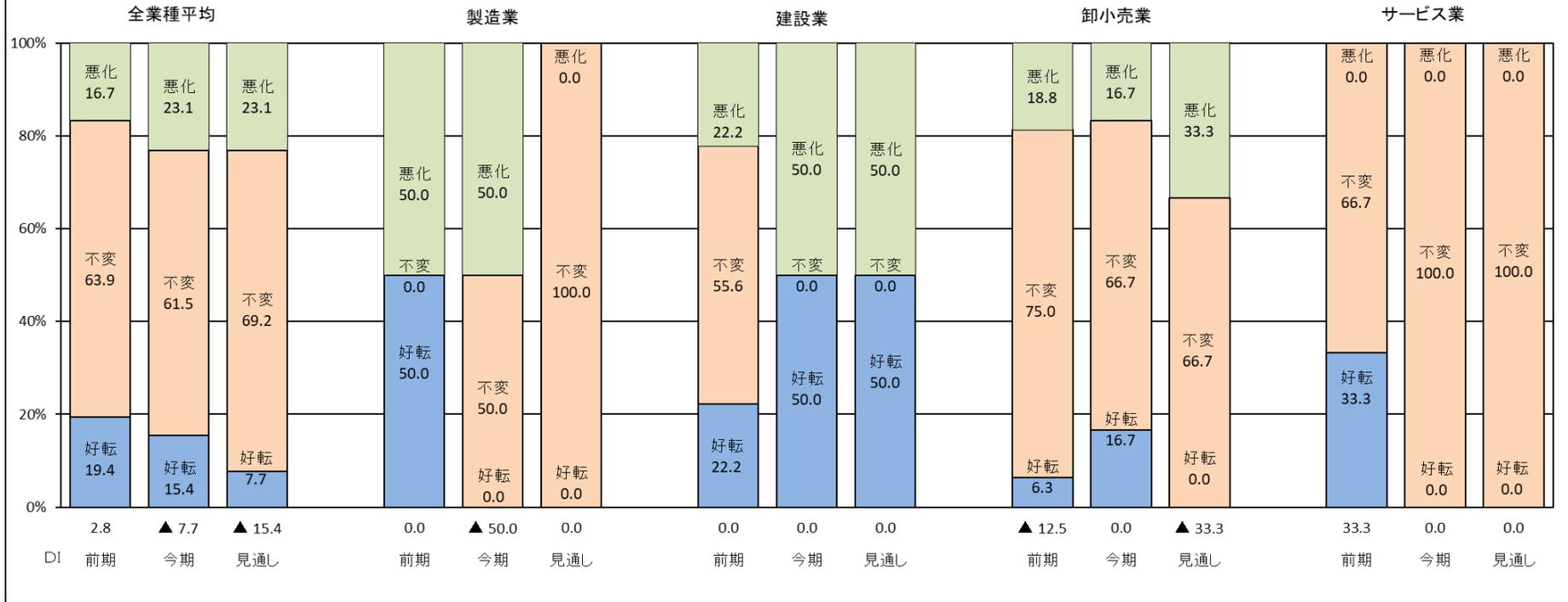
## 卸小売業 業況DI



## サービス業 業況DI



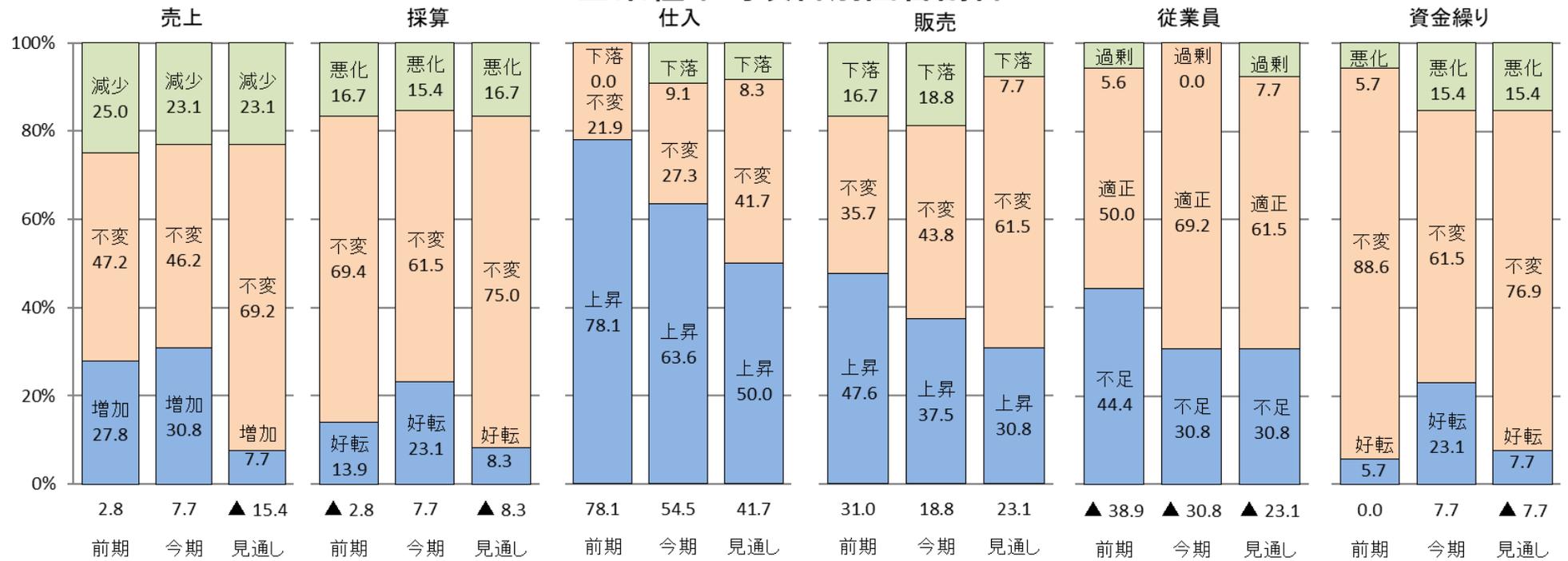
## 業種別業況回答割合



※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- 製造業～ 今期は前期と比べ、「好転」が減少し「不変」が増加。「悪化」については変更はない。
- 建設業～ 今期は前期と比べ、「好転」が増加し、「不変」が減少。見通しについては変動が見られない。
- 卸小売業～ 今期は前期に比べ、「悪化」が2.1%減少しており、「好転」の回答は16.7%と増加している。  
見通しでは「悪化」が16.6%増加し、「好転」は減少し、「不変」が増加している。  
要因として、円安や原料高、物価高騰等がみられる。
- サービス業～ 今期は前期に比べ、「好転」が0%となっており、「不変」が増加している。  
見通しでは今期と変わらず「不変」となっている。  
全体的に人口減少・仕入運賃増加・お客様の減少・若年層不足・求人難  
仕入単価増加・原油価格高騰・物価高騰等々の要因が挙げられている。

# 全業種平均項目別回答割合



## 売上DI

[減少の要因]

今期7.7ポイントと前期より4.9ポイント増加となっている。見通しでは、23.1ポイント減少となっている。

・資材の値上げ ・物価高 ・物流の遅延 ・メイン客層の高齢化 ・客単価減

## 採算DI

[悪化の要因]

今期2.7ポイントと前期より5.5ポイント好転となっている。見通しでは16.0ポイント悪化となっている。

・資材高騰 ・利益率の悪化 ・メーカーの大幅値上げ ・原油価格の高騰

## 仕入DI

[上昇の要因]

今期54.5ポイントと前期より23.6ポイント下落となっている。見通しでは12.8ポイント下落となっている。

・仕入運賃の増加 ・原材料の上昇

## 販売DI

[上昇の要因]

今期18.8ポイントと前期より12.2ポイント下落となっている。見通しでは4.3ポイント上昇となっている。

・原材料の上昇 ・メーカー値上げ ・製造コスト上昇

## 従業員DI

[不足の要因]

今期▲30.8ポイントと前期より8.1ポイント上昇となっている。見通しでも上昇傾向がみられる。

・高齢化 ・人口減少 ・若年層の不足 ・求人難 ・退職者増 ・仕事量の減少 ・職人不足

## 資金繰りDI

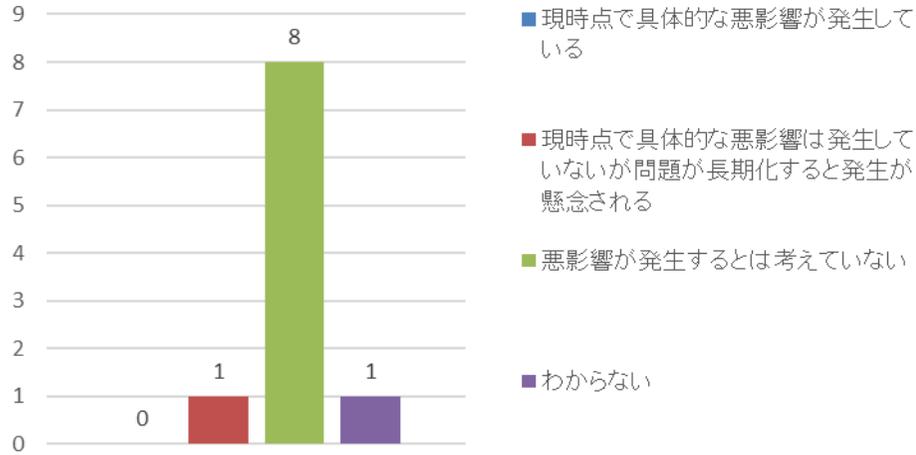
[悪化の原因]

今期7.7ポイントと前期より7.7ポイント好転となっている。見通しでは▲15.4ポイント下落している。

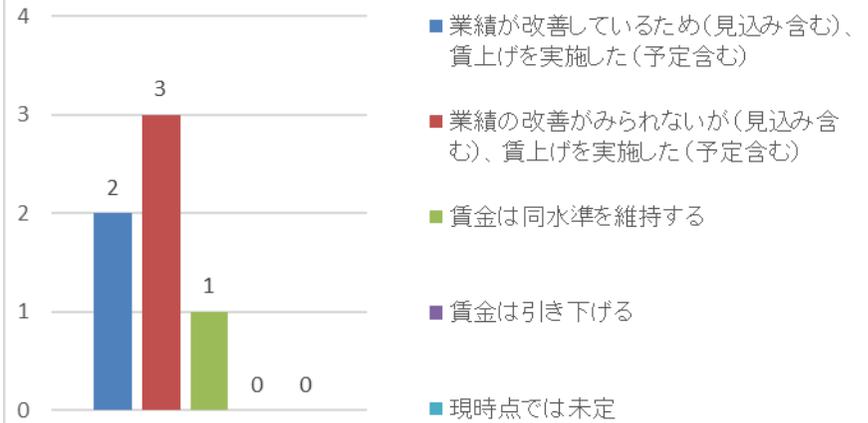
・経費の増加

# 付帯調査①

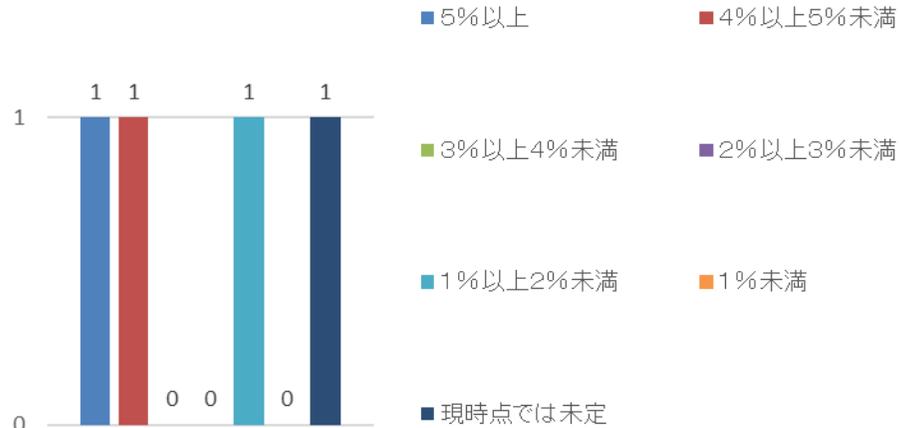
## ALPS処理水海洋放出の悪影響



## 2023年度の賃上げ状況



## 2023年度の賃上げ率



# 付帯調査②

